

2023年2月20日

障害連声明
精神科病院における暴行・虐待また明るみに

障害連(障害者の生活保障を要求する連絡会議)

代表 尾上裕亮

障害連は、障害の重い人、難病をもつ人たちが社会の中で人間としての尊厳をもって生きていけるように、権利と制度基盤の確立を求め運動をしている当事者団体である。

報道によると、医療法人社団孝山会・滝山病院で看護師は、精神科病棟に入院している人を暴行していた。警視庁は2月15日、4名の看護師が、入院している人に暴行した疑いがあるとして病院を捜索した。1名は逮捕された。ビデオでも職員がベッドで横になっている人に対して暴力をふるっているものが生々しく公開された。17日被害者側の弁護士が会見し、「暴力を振るわれた人は20名、暴行した職員は10名にのぼる」とした。滝山病院は288の病床がある病院だ。そのうち9割近い255床が精神科の入院病床で、統合失調症や認知症のほかアルコールによる精神障害、内部障害を合併した人などが入院されている。

私たちは、病院や生活施設の虐待事件が後を絶たないことに憤りを感じる。虐待事件に対して複数回声明を出し、虐待に繋がる病院や施設の閉鎖性、管理者・職員の人権意識の希薄性を訴えてきた。あわせて人手不足等の改善も求めてきた。それにもかかわらず虐待報道は後を絶たず、明るみになった事件は、氷山の一角で、全国の病院や施設で虐待が日々おこなわれていると容易に想像できる。暴力による対応を許してはならない。

そして病院や施設にいる人が地域で暮らせる方法を模索し、精神科病院や施設の漸次縮小を強く訴えたい。2022年9月に出了された国連障害者権利委員会は対日審査で、強制入院の制度の廃止を日本に要求した。虐待防止策を新たに盛り込んだ改正精神保健福祉法は2024年4月から施行されるが、障害者虐待防止法の実効性ある改正の中で総合的に虐待防止が行われていく必要がある。そしてインクルーシブ社会の理念に従い、強制入院制度等の早急な廃止をさらに訴えていく。

【事務局】障害連(障害者の生活保障を要求する連絡会議)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル5階

(担当:太田)

TEL:03-5282-0016 FAX:03-5282-0017